

和歌山県農林大学校林業研修部

公開講座のご案内

キノコや粘菌を通して森を見る

講師：和歌山県立自然博物館 学芸員 川上 新一

講座内容

森に入ると、様々な色や形をしたキノコに出会えます。目を楽しませてくれたり、種類によっては食用になったりすることで関心を集めることがあります。一方、同様に森に生息している粘菌（変形菌）の知名度はいまいちです。小さい生き物で、あまり目立たなく、食用にもならないからでしょう。しかし、ルーペや顕微鏡で観察すると、その可愛らしさや美しさに魅了される人々がいます。和歌山県出身の博物学者、南方熊楠もその一人です。

本講座では、キノコや粘菌がどんな生き物で、どのような生き方をしているのかについて解説します。こうした生き物は、森にとってどのような存在なのか、一緒に考えてみましょう。



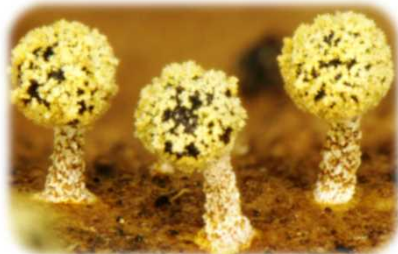
タマゴタケ



トーマスジクホコリ



ウツボホコリ



キラボシカタホコリ



シロイトルリホコリ

写真提供：和歌山県立自然博物館

開催日程

開催日時：11月 7日（土）13時30分～15時30分まで（受付開始13時）

会場：和歌山市北コミュニティセンター 多目的ホール（和歌山市直川32-7）

募集定員：35名（先着順）

応募締切：10月 28日（水）（ただし、定員に達した場合募集を締め切ります）

申込み先：農林大学校 林業研修部 TEL：0739-47-4141

お電話にて直接お申し込みください。受付時間 平日9時～17時

～新型コロナウイルス感染症の拡大防止について～

- ・受付時の検温、手指の消毒、マスクの着用、座席間隔の確保にご協力ください。
- ・当日、体調がすぐれない場合は参加をご遠慮ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催を中止する場合があります。

その他、詳しい情報は和歌山県農林大学校ホームページをご覧ください

和歌山県農林大学校

